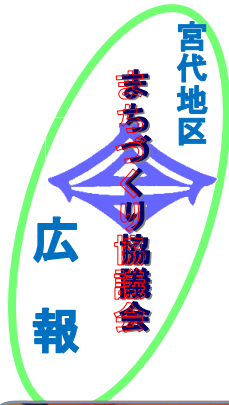


宮代地区まち協通信



南宮大社の“卯”

輪中堤桜並木

撮影 福本 莞さん

安八郡神戸町

輪中堤は、古くは洪水から家や水田を守るために築かれたものですが、現在は4kmに渡って約700本の桜並木になっています。満開時は美しい桜のトンネルとなり、夜間にはライトアップもされます。



「令和5年度 心新たに」

まちづくり協議会総務部長 日比 充

目次

- 令和5年度 心新たに
- 行事予定 (4月度)
- 活動報告 <2月・3月>
- 「宮代地区防災会」の設立
- 文芸の広場 中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記

令和4年4月1日に垂井町役場において宮代まちづくりセンター員として任用式に出席して以来すでに一年が経過しようとしています。宮代地区まちづくり協議会総会、宮代地区連合自治会総会の資料作りに始まり、すべての作業、行事が初めてのことばかりで、周りの方々に多々ご迷惑をお掛けし、フォローして頂いてやってこれたと実感しています。新型コロナウイルス感染第7波(7月7日~9月26日)、第8波(11月18日~R5・2月5日)もあり、まちづくりセンターのメイン行事でもあり、「宮代夏祭り」「南宮登山」も中止せざるを得ませんでした。しかし、宮代小学校の小学生を対象とした、体験授業・土曜授業においては、先生方、

PTA、サポーター会、ボランティアの皆さんのご協力により開催することができましたし、ふれあいスポーツ大会、さわやかスポーツ宮代も無事開催できました。また、第63回宮代文化祭も規模は昨年同様縮小されましたが、各団体、サークル、倶楽部の皆さんの作品を多くの方にご覧頂けました。令和5年度はこの一年の経験を生かし、まちづくりセンターの本来の目的でもある、住民・議会及び行政との協働のもと、地域コミュニティを形成し「地域の絆」を深め、豊かで住みよい、安心して暮らしていける自主・自立したまちづくりを心掛け、一人でも多くの方にまちづくりセンター、まちづくり協議会の行事・事業にご参加頂けるよう精進して行こうと心新たにしています。

まちづくり協議会総会

自然観察授業

ふれあいスポーツ大会

宮代文化祭



宮代地区まちづくり協議会 スクラムの輪



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	絵手紙教室	2日・16日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
2	シニアはつらつ教室	3日 12:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
3	TS 琴好会「大正琴教室」	6日・20日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	会員募集中
4	水墨画教室	7日・21日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
5	水彩を楽しむ会	8日・15日 9:00~11:30	土	まちセン 小会議室	
6	岐阜県議会議員選挙	9日 7:00~20:00	日	まちセン 大会議室	
7	令和5年度宮代連合自治会総会	16日 8:30~10:00	日	まちセン 大会議室	
8	令和5年度まちづくり協議会総会	16日 10:00~12:00	日	まちセン 大会議室	
9	垂井町長・町議会議員選挙	23日 7:00~20:00	日	まちセン 大会議室	

活動報告



2/20~3/19

みあうこころ集こま
明るく住みよいまちへ
宮代地区まちづくり協議会

3月4日 土曜授業「巣箱掛け」が、宮代小学校の五年生を対象に開催され、二月一八日に学校で作った巣箱を、みんなで力を合わせて、梯子に登って、できるだけ高いところに取り付けました。



3月5日 宮代連合自治会長会議が開催され、令和5年度の新自治会長全員にご出席いただき、自己紹介があり連合自治会規約、まちづくり協議会の組織構成、協議会との係わり、自治会費に関する事などが議論されました。



3月13日 宮代こども園の園児が、南宮大社太鼓橋の下の川で、ホタルの幼虫とその餌となるカワニナを、堅瀬古自治会長 富田正巳さんの指導で放流しました。



「宮代地区防災会」が設立されました

3月5日「宮代防災会」の設立総会が開催されました。

自然災害を想定して地域の防災意識を喚起すると共に自主防災の組織活動と連携して地域全体の防災体制を構築することを目的として、宮代まちづくり協議会 安全防災部と協働して活動してゆくことが決議されました。防災会規約が制定され、役員を選出が行われ、災害を想定した各種訓練の計画、安全確認の方法などの事業計画が審議されました。また、地域住民への啓蒙活動を推進してゆく為の、講演会・研修会の開催も決定されました。

1. 自主防災活動について

＜平常時＞

防災組織の普及・啓発
防災環境の確認
家庭の安全確認
防災資機材の整備・点検
防災訓練の実施

＜災害時＞

初期消火
救出・救助
情報の収集・伝達
避難誘導
避難所の管理・運営

2. 宮代地区で想定される災害

水害

外水氾濫→泥川が破綻し越水(宮代地区には該当なし)

内水氾濫→道路側溝、用排水溝などが溢れる

注意河川→大谷川・山田川・境野川

注意ため池→大谷池・西蛇池・百合戸池・境野ため池

土砂災害

警戒区域→朝倉・レンゲローズ・中屋敷・最横・大峯

横瀬古・谷中・南森下・境野

特別警戒区域(土石流、急傾斜地の崩壊)→山田川・柚木川

地震災害

海溝型→南海トラフ地震

内陸型→養老・桑名・四日市断層帯地震

3. 令和5年度の主な事業計画

ア. 防災意識啓蒙活動として、講演会・研修会の開催

イ. 各種訓練と、自主防災活動及び安否確認ルールの確立

各家庭の出口付近に「黄色いタスキ」の掲示を徹底

避難訓練、救援・救護訓練、消火訓練、要支援者対応訓練

ウ. 避難所運営について

避難所運営委員会の設立

避難所運営組織の決定、活動班の検討、要配慮者の対応方法

＜平常時＞

避難所開設・運営訓練

活動班の活動シュミレーション

避難所生活のルール作り

＜災害時＞

情報の共有化

災害対策本部への報告

避難所の運営

エ. 防災リーダー及び防災ボランティアの育成

防災知識を有する、消防士・看護師・介護士のスタッフの

発掘と防災士などのリーダーの育成

オ. 各地区防災資機材の点検・整備



家庭で準備する避難グッズ



宮代伝統の句会、身を地に託し
その心を言葉の華と咲かせて
届けて下さる人がいます……

* 闇で名を 呼ばれて香る 沈丁花

川瀬 慶泉

* 春風の 真下に日々の 暮らしあり

三和 光子

* 空あおぐ 桜のつぼみ ふくらんだ

中嶋 結映

* 春光の 川面見つめる 鷺一羽

石垣 珠泉



宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その四 芳賀為助 (はが ためすけ)

< 県の特別表彰にえられた名も無きひと 芳賀為助 >

明治13年(1880年)に、岐阜県は人々の手本なる心を、天下に
広く示すため、名も無い一人の老人を、岐阜県表彰第一号と決めました。
宮代在住の芳賀為助という人でした。

為助は、文政8年(1825年)9月、表佐村 山田為八の長男として
生まれ、19歳のとき、南宮神社社家の宇都宮由秀に雇われ、主家に
誠実を尽くした。25歳のとき父為八が重病を患ったので主家を辞し、
父の看病に専念しましたが 程なくして亡くなりました。当時主家の
由秀も没し、嗣子秀尚も幼弱であったので、為助自身は、弟八兵衛に
家督を譲り、再び主家 宇都宮家に仕え、家事を助けました。

< 親に孝 主家に忠の為助 >

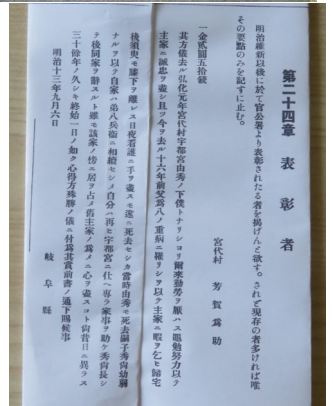
秀尚が成人したので同家を辞し、かたわらに居を構えて、旧主のために
尽くしました。為助は生涯妻帯せず、また読書を良くし、向学の人であ
り、十年一日のごとく神に仕えて生きた人でした。

尚、県は、金一封を添えて為助の労を労った。

(新修 垂井町史より)



岐阜県の金一封の表彰状



< 編集後記 > ★今心配なこと

新型コロナウイルス感染症対策は一つの節目を迎えています。今までマスクの着用
は生活の基本でしたが、これからは個人の自由で良い、各自の判断でマスクを取り
扱うことになりました。現代社会は「誰かに決めてもらえば責任を取らなくても済
む」というようなムードがありますが、他に責任を求め、自分で考える必要は無い
と片づけることで思考を停止しているのではないかと心配になるのは私だけですか。

4月・5月の休館日(予定)

4月 4日(火)・8日(土)・9日(日)
11日(火)・18日(火)・22日(土)
23日(日)・25日(火)

5月 2日(火)・9日(火)・16日(火)
23日(火)・30日(火)

4月8・9日・22・23日は選挙会場と
なるためセンターは使用できません。

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代まちづくりセンターから西方を望む

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい